

第123回生涯教育研修セミナー

日時 2021年2月27日(土) 午後 3:00～5:50

方法 Web配信 ※参加費無料、事前登録制（お申込多数の場合は先着順となります。）

下記の URL または二次元コードにて 2月26日（金）までに Google フォームでの参加登録をお願いいたします。追って事務局より ZOOM の登録用 URL をお送りします。（ZOOM の登録用 URL の送付まで数日いただく場合がございます。）

<https://forms.gle/e17eGAx8L3YryvXE6>



参加対象

慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位

日本医師会生涯教育制度参加証交付 2単位（取得カリキュラムコード：9）

開会の辞

挨拶

テーマ

『データ × AI 時代を考える』

生涯教育研修セミナー委員会委員長 村田 満

医学部長・慶應医学会長 天谷 雅行

慶應医師会長 小川 郁

三四会会長 武田 純三

人工知能（AI）は第3次ブームを迎え、産業界では徐々にAIが活用されるようになり、医療業界においてもAI活用への期待が高まっている。現在、慶應義塾大学病院では、内閣府のAIホスピタルプロジェクトにおいてAIやITの医療現場への実装を進めている。このプロジェクトは、①患者情報のデータベースを構築すること、②自動音声入力・ロボット活用・遠隔診療などを用いた利便性向上を目的にしたものに大きくわけることができ、②の実装はかなり進んできた。一方、①は、個人情報保護などの観点からハードルが高いところがある。しかし、医用データの有効活用を目指すバイオバンク構想の基盤として着実に準備を進めている。

今回のセミナーでは、“AIとデータの組み合わせの時代”に向けて発信しておられる先生方に、現在の取り組み、未来の社会像、これからやるべきことなどについてお話し頂くことにした。医用データが有効活用されるようになったとき、どのようなことが出来るようになりどのような社会になっているのかを考えていく一助になることを願っている。

モデレーター 慶應義塾大学医学部放射線科学（診断） 教授 陣崎 雅弘

1. 『AIはこころの病を診ることができるか？—IoT、自然言語処理を用いた新しい試み—』

慶應義塾大学医学部精神・神経科学 専任講師 岸本 泰士郎

2. 『認知症エコシステムへの取り組み』

エーザイ株式会社 執行役 チーフデジタルオフィサー 内藤 景介

3. 『ゲノム・オミックスデータを利用した疾患発症リスク算出と個別化予防』

岩手医科大学医歯薬総合研究所生体情報解析部門 教授 清水 厚志

4. 『ニューノーマルの先にある新しい社会とヘルスケア』

慶應義塾大学医学部医療政策・管理学 教授 宮田 裕章

挨拶

挨拶

エーザイ株式会社 代表執行役 CEO 内藤 晴夫

慶應義塾常任理事 竹内 勤

第124回開催予定：2021年6月26日（土）開催

【共催】

慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会・慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会・慶應医学会
エーザイ株式会社

【連絡先】

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611（直通） E-mail: med-somu-3@adst.keio.ac.jp